

《最近の県内経済》 (2025年2月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。



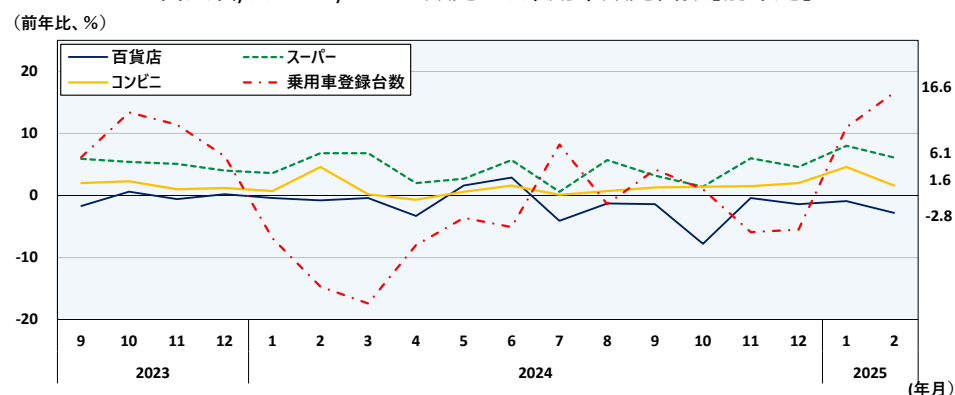
前月比

1 個人消費 ～緩やかに持ち直している



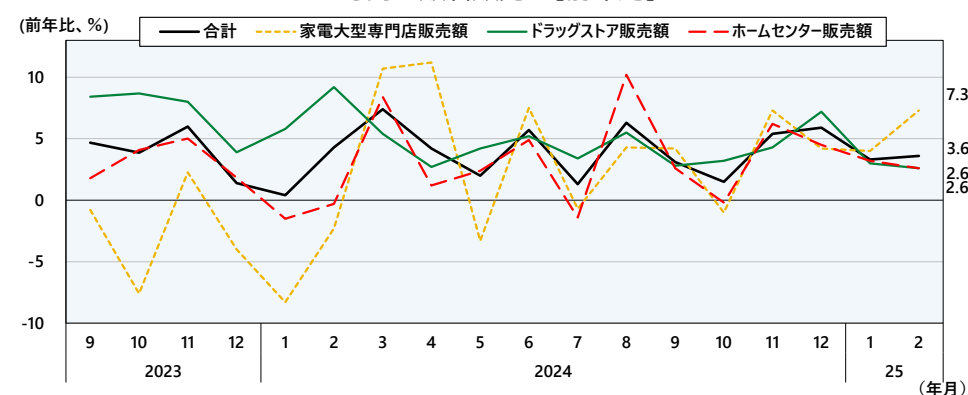
前月比

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

2月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は101億円で前年比2.8%減（8か月連続の減少）、スーパーは1,054億円で同6.1%増（29か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は527億円で同1.6%増（10か月連続の増加）となった。気温の低下等の天候要因により春物商材の動きは鈍かったものの、生鮮品や米価格の高騰や惣菜需要の高まりが売上に寄与した。

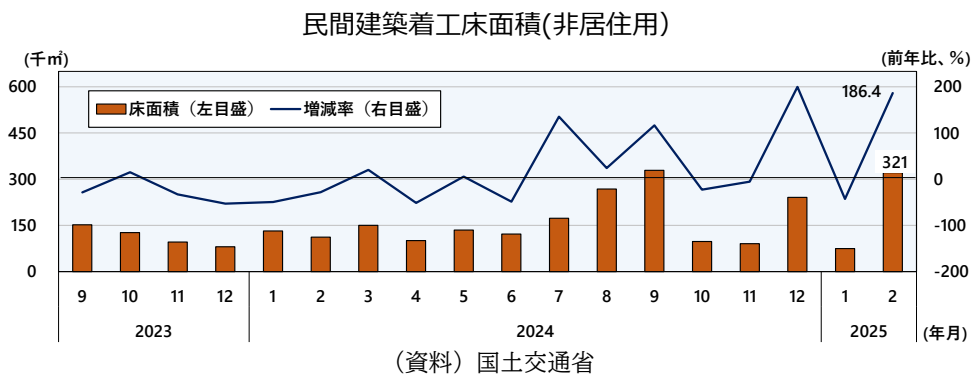
また、乗用車販売は、前年比16.6%増と2か月連続の増加となった。内訳をみると、普通車が同8.5%増（8か月連続の増加）、小型車が同39.0%増（2か月連続の増加）、軽自動車と同16.9%増（2か月連続の増加）とそれぞれ増加した。前年の検査不正に伴う生産減の反動が背景にある。

2月の専門量販店販売額は743億円で前年比3.6%増と29か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が169億円で同7.3%増（4か月連続の増加）、ドラッグストアが414億円で同2.6%増（33か月連続の増加）、ホームセンターが160億円で同2.6%増（4か月連続の増加）となった。

家電専門店では気温低下の影響を受けエアコンなどの季節家電、ドラッグストアでは化粧品や調剤医薬品など、ホームセンターでは暖房器具や防寒用品が好調だった。

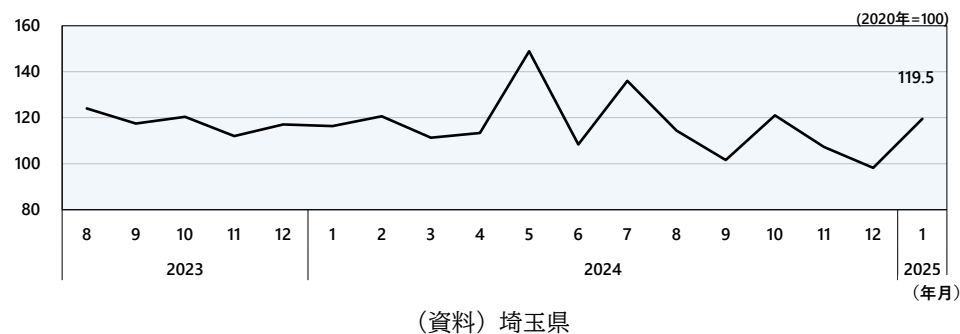
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、1月〈35.8〉、2月〈35.4〉、3月〈35.5〉と推移している。

2 設備投資～持ち直している



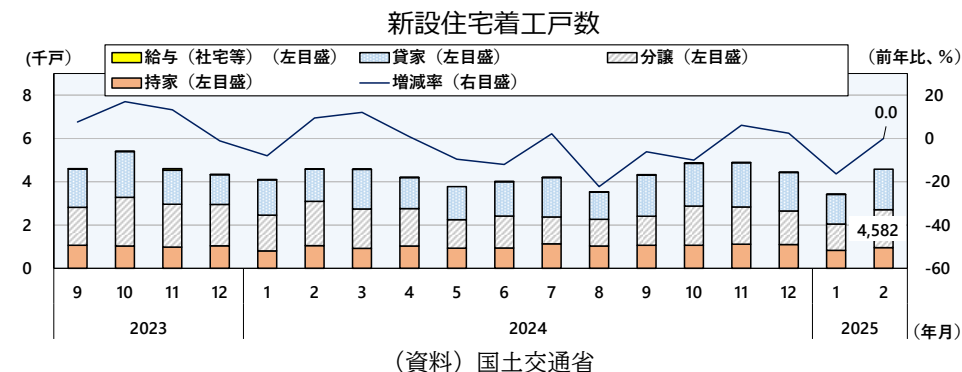
2月の民間建築着工床面積(非居住用)は、321千㎡で前年比186.4%増と2か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、前年比51.1%増加)。
用途別にみると、店舗、学校の校舎、病院・診療所は減少したものの、事務所、工場及び作業場、倉庫はいずれも増加した。

資本財出荷指数(季節調整済)



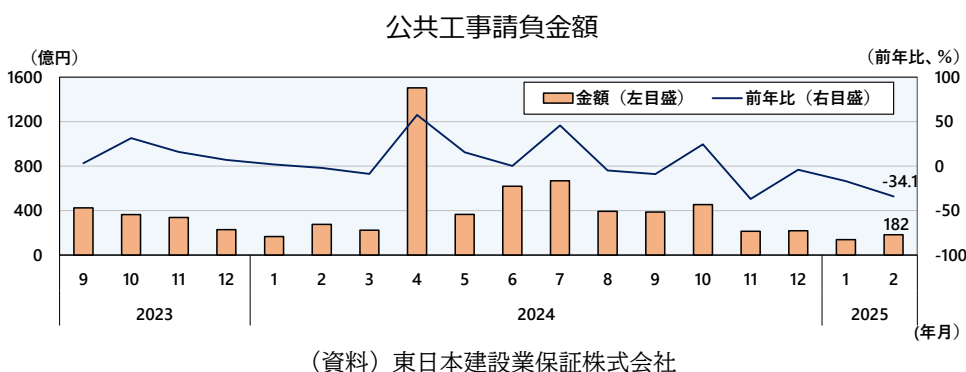
1月の資本財出荷指数(季節調整済)は119.5で、前月比21.7%増と3か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均も、前年比1.0%増加)。

3 住宅建設～弱含んでいる



2月の新設住宅着工戸数は、4,582戸で前年比横ばいとなった(5か月後方移動平均でも3.6%減)。利用関係別にみると、貸家(1,869戸)が同26.4%増となったものの、持家(957戸)は同9.3%減、分譲マンション(717戸)は同17.4%減、分譲一戸建て(1,030戸)が前年比12.5%減となった。

4 公共工事～底堅く推移している

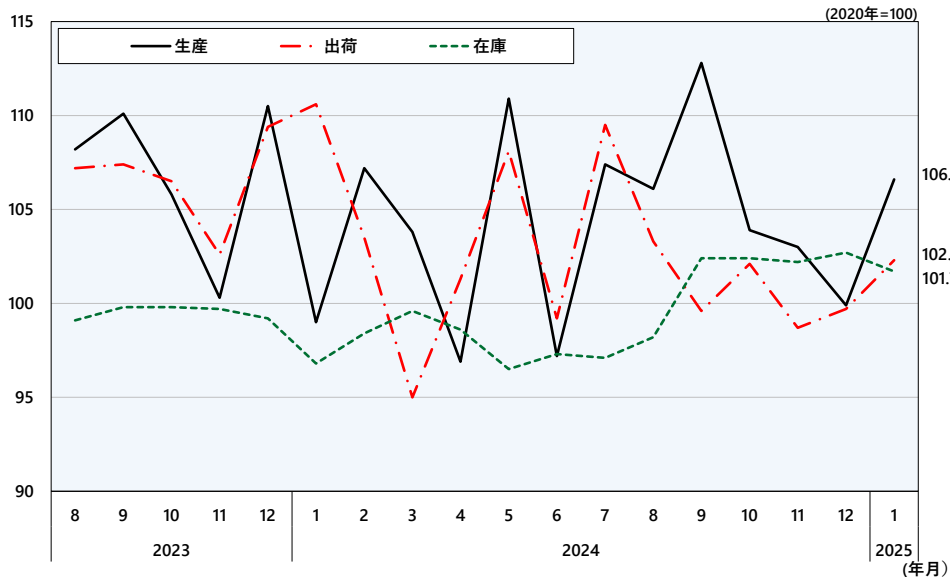


2月の公共工事請負額は182億円、前年比34.1%減となった(4か月連続の減少)。5か月後方移動平均でも前年比12.2%減で推移。発注者別の前年比をみると、国、独立行政法人等、都道府県、市区町村、地方公社のいずれも減少した。

5 生産活動 ～一進一退



鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



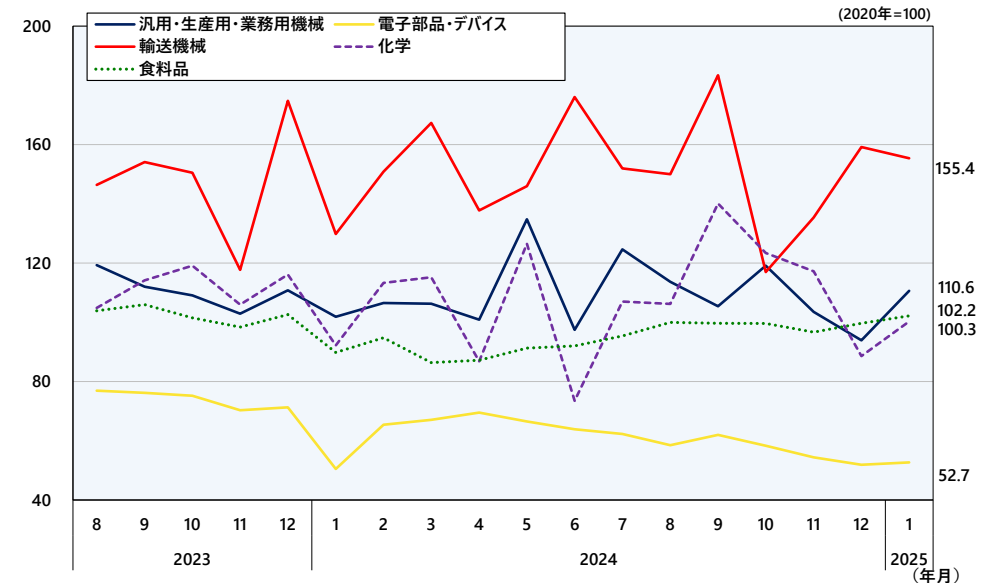
(資料) 埼玉県

1月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、106.6で前月比6.7%上昇した(4か月ぶりの上昇)。輸送機械(航空機用部品、普通トラック)、印刷業(平版印刷(オフセット印刷)、おう版印刷(グラビア印刷))などが低下したが、化学(医薬品、ビタミン含有保健剤)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)などが上昇した。

出荷指数(同)は、102.3で同2.6%上昇(2か月連続の上昇)。化学(医薬品、化粧品)、汎用機械(空気圧機器、固定比減速機)などが低下したが、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)などが上昇した。

在庫指数(同)は、101.7で同1.0%低下(2か月ぶりの低下)。生産用機械(マシニングセンタ、刈払機)、食料品(精米、小麦粉)などが上昇したが、化学(印刷インキ、合成樹脂塗料)、金属製品(スチール製缶、飲料用アルミニウム缶)などが低下した。

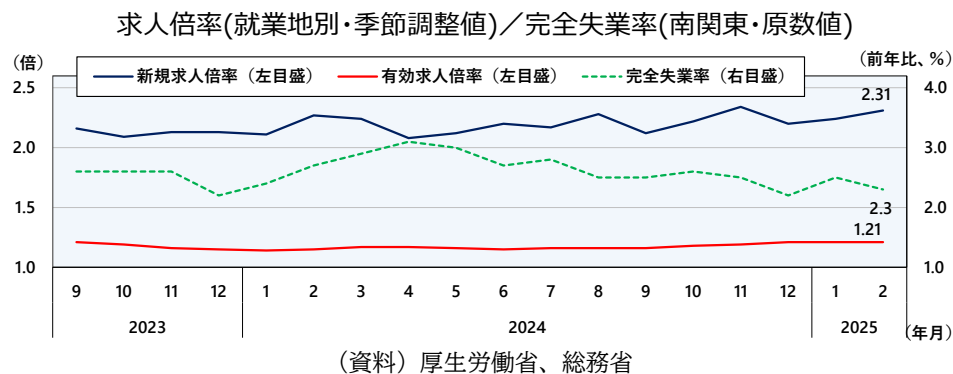
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、110.6で前月比17.8%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、52.7で同1.5%上昇し、4か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、155.4で同2.4%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、100.3で同13.2%上昇し、4か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 食料品(同)は、102.2で同2.5%上昇し、2か月連続の上昇となった。

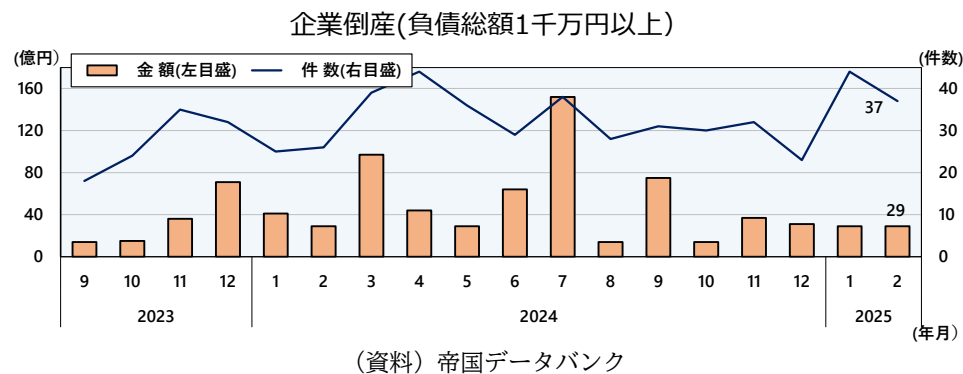
6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している 前月比



2月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.21倍で前月比横ばいとなった。新規求人倍率(同)は、2.31倍で同比0.07ポイント上昇(2か月連続の上昇)となった。

また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.3%で前年同月比0.4ポイント低下した(前年同月比3か月ぶりの低下)。

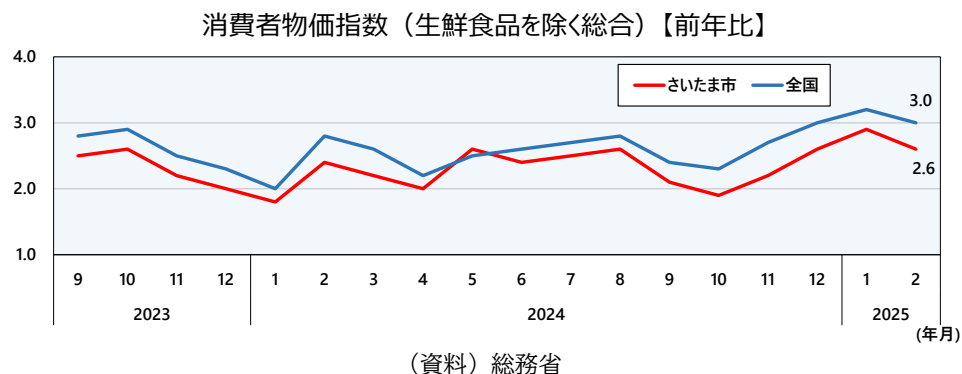
7 企業倒産 ～緩やかな増加基調にある 前月比



2月の企業倒産件数は37件で前年同月比11件の増加となった。また、負債総額は29億円で同横ばいとなった(5か月移動平均では、件数は前年比5件増加、負債総額は同10億円の減少)。

業種別にみると、サービス業が最多で13件、次いで建業が7件、製造業、小売業がそれぞれ6件となっている。主因別では、販売不振が35件となっている。

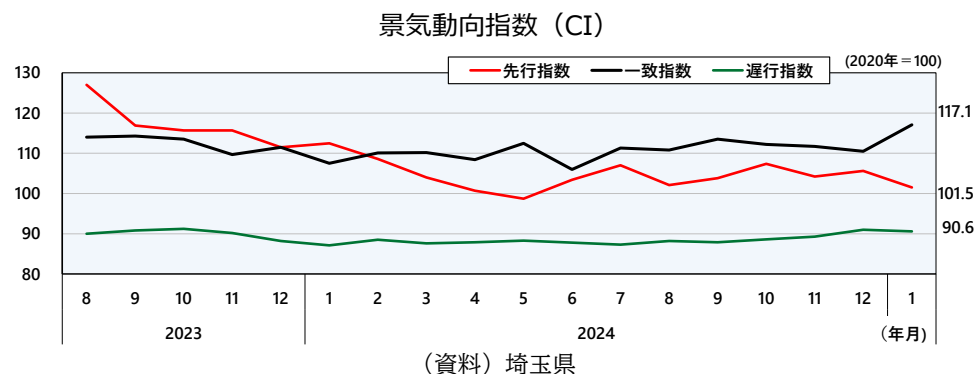
8 消費者物価 ～緩やかに上昇している 前月比



2月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、108.5で前年同月比2.6%上昇した(41か月連続の前年同月上昇)。

光熱・水道(電気代)、食料(穀類)などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI)～上方への局面変化を示している



- 1月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、117.1で前月比6.6ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、101.5で同4.1ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、90.6で同0.4ポイント下降し、4か月ぶりの下降となった。